

職員各位へ

令和3年8月19日 臨時
老健一羊館施設長 桑原英眞

新型コロナウイルス感染症に対する基本的考え方の改めでの徹底周知について

これまで、蔓延地域からの人との接触者や職員・家族・利用者等の体調不良者、への考え方とその対応については周知してきましたが、この第5波の急激な拡がりはいずれまでの現状では尚不十分であることが分かりました。

そこで、以下について更に徹底するように努めて下さい。

記

- 1、「5日ルール」を徹底すること。特に5日目の判定に留意し、不詳ならば更に5日延長を躊躇しない事。
- 2、利用者に接する時だけでなく、休憩時にもマスク着用と手指衛生を徹底すること。
- 3、職員自身の体調不良・職員家族の体調不良に当たっては、欠勤することをいとわない事、またその人を責めない事。

以上

補足：

①冷静に考えればいつかは新型コロナが侵入してしまうけれども、その時に後悔しないように出来る限り職員全員が侵入させないことに努力する、即ち結果ではなく努力と言う「経過」が大事である事。

②新型コロナが施設に侵入してしまった時は、職員全員が一蓮托生なので、個々人を責める意味はなく、社会からのあらゆる責めに全員で耐える以外にならぬ事。ハウレンソウ(報告・連絡・相談)で多職種協働の成果を見せる時です。

③欠勤をためらう必要はなく、業務縮小は当然のこととして業務破綻するかどうかはその場その場で施設として対応するので個人で考える必要はない事(但し業務破綻すれば職員全員の生活にも影響が出ることはご承知の通り)。